

# 相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニュースレター26号 2006.1.28発行

発行 オアシスの森くらぶ  
編集委員会  
発行人 大館 学  
編集長 近藤 真史

## 定例活動／12月24日(土)「梅の剪定と門松づくり」

伊藤 晶子



▲今回は多くの子どもたちが加わって、賑やかな記念撮影となりました！

2005年の森くらぶの活動は全てまずまずの天候に恵まれました。12月の活動日も前日は大雪で、当日も雪の予想で気をもみましたが、早朝に雨が上がり、開始時には日が差してきました。会員13名と豊田工大のボランティアの学生さん2名の特別参加を得て賑やかな活動になりました。

柔軟体操の後、山根口の門松づくり、梅林の剪定、林内の枯れ松除去等の作業に取りかかりました。

竹を切る人、松、梅、南天、うらじろ、熊笹等の材料を集める人、門松の土台づくりをする人、組み立てる人と、各自が阿吽の呼吸で動き、作業はどんどんはかどっていきました。前日の雪

が残る不安定な足場での作業でしたが、誰一人ケガすることもなく、寒さを忘れて励みました。

午後は高坂学童クラブの児童19名が加わり、ミニ門松を作りました。輪切りにした青竹の器の中に松や梅などを生けましたが、子どもたちは発想豊かにオリジナルを作って楽しんでいました。



子どもたちのオリジナリティあふれる「ミニ門松」

風が冷たくなった頃、完成した門松の前に全員集合、良き新年を願い、記念撮影をして納会としました。

11月18日 (金)

## 「セネガル林野庁長官 (? )、オアシスの森へ」

小池 敦夫

ある日突然、(社)日本森林技術協会の知り合いから電話があり、セネガルの森林局長(日本の林野庁長官に当たる)がJICA(国際協力機構)の研修により「日本の地方自治体における住民参加による森林保全・管理体制」を視察するので、相生山緑地オアシスの森を案内して欲しいとのこと。

研修当日、森林局長は林野火災のため研修は急きょ取り止めになりましたが、代わりにチャムコーディネーターとジャーニュー部長補佐のお二人に、通訳など合計4人が、天白区役所に集合。

区長さんと面会し、我がくらぶの"クラフトマスター"である森さん手製の竹クラフトをおみやげとしてお渡しした後、1時間くらいかけて森くらぶの活動をスライドで説明、その後オアシスの森へ。

天気は快晴、森さんも現地で待ち受けていて、天白区役所や天白土木の尾崎さんも加わり、みんなでオアシスの森を案内しました。我々の手厚い対応に非常に感激して帰って行きました。

ところでセネガルってどういう国か知っていますか?パリ・ダカールラリ

ーは知っている人も多いですが、このダカールというのがセネガルの首都、フランス語圏でイスラム教徒だそうです。

オアシスの森も国際化かな?

